



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月2日

上場会社名 カーリットホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4275 URL http://www.carlithd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣橋 賢一
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 塩次 与志彦 TEL 03-6893-7060
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	37,904	6.1	1,216	48.9	1,401	49.4	972	83.5
29年3月期第3四半期	35,721	4.6	816	2.1	938	6.8	530	3.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,922百万円 (31.6%) 29年3月期第3四半期 1,461百万円 (55.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	41.09	—
29年3月期第3四半期	22.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	52,615	25,604	48.7	1,081.55
29年3月期	49,438	23,920	48.4	1,010.55

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 25,604百万円 29年3月期 23,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	10.00	10.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	6.8	1,900	40.6	2,000	38.9	1,200	56.8	50.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は添付書類8ページの「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	24,050,000株	29年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	375,873株	29年3月期	379,742株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	23,672,834株	29年3月期3Q	23,666,207株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（その他特記事項）

該当事項はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善を背景に堅調に推移しました。一方で、欧米における政治混乱リスクや東アジア地域における地政学的リスクの存在などもあり、先行きについては不透明な状況が続いています。

当期は、創業100周年を最終年度とする4ヵ年の中期経営計画「礎100」の3年目となります。次の100年の新たな事業基盤の確立を目指し、成長基盤強化、収益基盤強化、グループ経営基盤強化の3つの基盤強化を掲げ、中期経営計画達成に向けて諸施策に取り組んでおります。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、379億4百万円（前年同期比 21億8千2百万円増 同6.1%増）となりました。

また、連結営業利益は12億1千6百万円（前年同期比 3億9千9百万円増 同48.9%増）、連結経常利益は14億1百万円（前年同期比 4億6千3百万円増 同49.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、9億7千2百万円（前年同期比 4億4千2百万円増 同83.5%増）となりました。

（単位：百万円）

区 分	連 結 売 上 高		連 結 営 業 利 益	
	前第3四半期	当第3四半期	前第3四半期	当第3四半期
化学品	15,197	16,473	515	752
ボトリング	13,765	14,248	360	373
産業用部材	5,939	6,220	150	185
小 計	34,902	36,942	1,026	1,310
その他・消去	819	961	△209	△93
合 計	35,721	37,904	816	1,216

「化学品事業部門」

化薬分野においては、産業用爆薬は、土木案件の減少により減販となりました。自動車用緊急保安炎筒は、新車装着向け、車検交換向けとも増販となりました。また、高速道路用信号炎管、鉄道用信号炎管、煙火材料も増販となりました。

受託評価分野においては、電池試験は上期の受注減の影響で減販となりましたが、危険性評価試験は電池案件の増加により増販となり、分野全体としては増販となりました。

化成品分野においては、ロケットの固体推進薬原料である過塩素酸アンモニウム、除草剤、過塩素酸は増販となったものの、パルプ漂白用の塩素酸ナトリウムが減販となり、分野全体としては減販となりました。

電子材料分野においては、チオフェン系材料、電気二重層キャパシタ用電解液、イオン導電材料は大幅な増販に、機能性高分子コンデンサ向けピロール関連製品、アルミ電解コンデンサ向け材料は増販となりました。

セラミック材料分野は、国内主要砥石メーカーの生産調整により、減販となりました。

その他では、販売商社である佳里多上海は大幅な増販に、三協実業は増販となりました。

これらの結果、当事業部門全体の売上高は164億7千3百万円（前年同期比 12億7千6百万円増 同8.4%増）、営業利益は7億5千2百万円（前年同期比 2億3千6百万円増 同45.9%増）となりました。

「ボトリング事業部門」

缶製品と炭酸飲料などの委託品は減販となったものの、主力の茶系飲料は受注の増加により増販となりました。これらの結果、当事業部門全体の売上高は142億4千8百万円（前年同期比 4億8千2百万円増 同3.5%増）、営業利益は3億7千3百万円（前年同期比 1千2百万円増 同3.6%増）となりました。

「産業用部材事業部門」

シリコンウェーハは、不採算品目からの撤退等を行うも、半導体市場の好況を受け増販となりました。

耐火・耐熱金物は、都市ごみ焼却場やバイオマスプラントの新設案件の減少により減販に、スタッド事業は増販となりました。ばね・座金製品は拡販の成果と市場環境の回復が継続し増販となりました。

これらの結果、当事業部門全体の売上高は62億2千万円（前年同期比 2億8千1百万円増 同4.7%増）、営業利益は1億8千5百万円（前年同期比 3千4百万円増 同22.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は526億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億7千6百万円増加いたしました。これは、受取手形及び売掛金が18億2千7百万円増加、投資有価証券が12億8千万円増加したことなどによります。

負債は270億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ14億9千1百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金が16億3千万円増加したことなどによります。

純資産は256億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億8千4百万円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が7億3千3百万円増加、その他有価証券評価差額金が8億9千3百万円増加したことなどによります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.4%から48.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成29年10月31日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,262	3,920
受取手形及び売掛金	10,885	12,713
商品及び製品	1,864	2,101
仕掛品	544	744
原材料及び貯蔵品	1,425	1,487
その他	1,228	1,170
貸倒引当金	△10	△2
流動資産合計	20,200	22,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,972	8,459
機械装置及び運搬具(純額)	4,415	4,290
土地	5,360	5,537
建設仮勘定	1,586	1,285
その他(純額)	626	570
有形固定資産合計	19,961	20,144
無形固定資産		
のれん	493	322
その他	87	69
無形固定資産合計	580	392
投資その他の資産		
投資有価証券	7,862	9,143
その他	836	802
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	8,695	9,941
固定資産合計	29,237	30,478
資産合計	49,438	52,615

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,939	7,570
短期借入金	3,268	4,520
1年内返済予定の長期借入金	1,845	2,038
未払法人税等	198	265
賞与引当金	505	243
その他	2,319	2,074
流動負債合計	14,077	16,712
固定負債		
長期借入金	4,787	3,366
環境対策引当金	101	101
役員株式給付引当金	34	32
退職給付に係る負債	1,182	1,184
その他	5,334	5,612
固定負債合計	11,440	10,298
負債合計	25,518	27,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,099	2,099
資本剰余金	1,192	1,192
利益剰余金	17,557	18,290
自己株式	△210	△208
株主資本合計	20,639	21,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,519	4,413
繰延ヘッジ損益	△10	5
為替換算調整勘定	87	92
退職給付に係る調整累計額	△315	△281
その他の包括利益累計額合計	3,280	4,230
純資産合計	23,920	25,604
負債純資産合計	49,438	52,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	35,721	37,904
売上原価	30,220	31,960
売上総利益	5,501	5,943
販売費及び一般管理費	4,684	4,726
営業利益	816	1,216
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	138	157
雑収入	63	104
営業外収益合計	203	263
営業外費用		
支払利息	52	52
持分法による投資損失	14	4
雑損失	15	21
営業外費用合計	82	78
経常利益	938	1,401
特別利益		
固定資産売却益	13	5
投資有価証券売却益	—	16
特別利益合計	13	22
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	83	13
特別損失合計	83	13
税金等調整前四半期純利益	867	1,409
法人税等	337	437
四半期純利益	530	972
親会社株主に帰属する四半期純利益	530	972

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	530	972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	981	893
繰延ヘッジ損益	40	16
為替換算調整勘定	△118	5
退職給付に係る調整額	27	34
その他の包括利益合計	930	949
四半期包括利益	1,461	1,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,461	1,922

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	化学品	ボト リング	産業用 部材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,935	13,765	5,902	34,602	1,118	35,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	261	—	37	299	2,288	2,587
計	15,197	13,765	5,939	34,902	3,407	38,309
セグメント利益	515	360	150	1,026	714	1,740

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主要な製品・サービスは請負工事、塗料・塗装、設計等であり、持株会社である当社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,026
「その他」の区分の利益	714
セグメント間取引消去	△923
四半期連結損益計算書の営業利益	816

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	化学品	ボト リング	産業用 部材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,210	14,248	5,986	36,444	1,459	37,904
セグメント間の内部売上高 又は振替高	263	—	234	497	2,232	2,730
計	16,473	14,248	6,220	36,942	3,692	40,635
セグメント利益	752	373	185	1,310	783	2,093

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主要な製品・サービスは請負工事、塗料・塗装、設計等であり、持株会社である当社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,310
「その他」の区分の利益	783
セグメント間取引消去	△876
四半期連結損益計算書の営業利益	1,216

(重要な後発事象)

該当事項はありません。